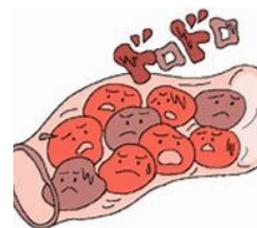




皆様こんにちは。
CPAP 外来通信を手にとっていただき有難うございます♪
さて今回は、睡眠時無呼吸症候群が招く合併症の一つ
『多血症』についてご紹介致します。



SASが招くドロドロ血液!?

SAS、特に閉塞性睡眠時無呼吸症候群(OSAS)は様々な生活習慣病を合併します。これは、**睡眠中に発生する無呼吸によって血液中の酸素濃度が下がる**ことが原因です。そんな合併症の予兆ともいえるのが多血症です。

担当医交代のお知らせ

2022年4月よりCPAP 専門外来は、呼吸器内科 栗林医師の診察となります。皆様には引き続き、こちらの専門外来を受診していただき治療の継続をフォローさせていただきます。午前の通常外来から午後の専門外来への移動も可能ですのでスタッフにご相談下さい。

SASには閉塞型と中枢型の2種類がありますが、大多数は閉塞型(OSAS)です。そんなOSASの患者さんの血液を検査すると、**ヘモグロビンの濃度が高くなっている**場合が多いのです。ヘモグロビン濃度が高いということは赤血球が増えているということで、この状態のことを『**多血症**』といいます。なぜOSASで赤血球が増えるのかというと、無呼吸によって酸素の血中濃度が低くなると、赤血球の産生を促す「エリスロポエチン」というホルモンの分泌が増えるからです。



ヘモグロビンは赤血球の中で酸素分子と結びつき、全身に酸素を運ぶ働きがあります。しかし**増えすぎれば、血液そのものがドロドロ**になってしまいます。**ドロドロになるということは、流れにくく、詰まりやすくなる**ということです。これは食事や運動不足によって中性脂肪やコレステロール値が増える生活習慣病とは無関係に起こります。無呼吸による血中の酸素不足から起こるドロドロ血液も、生活習慣由来のドロドロも血液を詰まらせ、動脈硬化のリスクが高まってしまいます。



転勤・転居にも対応します!

転勤・転居にて通院が困難になる場合はお知らせください。CPAP 担当会社が、転居先の病院がCPAP 治療の管理が可能であるか確認してくれますので早めにご連絡お願い致します。

来月のCPAP 外来は**第2木曜日**の4月14日(Dr栗林)、**第4木曜日**の4月28日(Dr栗林)に行いますので、お間違えのないように受診してください。

☆ 過去のCPAP 外来通信が呉共済病院ホームページでご覧になれます ☆

<http://www.kure-kyosai.jp/> へどうぞ。

発行/ 臨床研究科

